

《教育関係について》

◎ 教育委員会事業

(1) 定例会・臨時会開催日数

総務課

事業概要	定例会は原則、毎月第2火曜日に開催することと規則で定めており、付議事件を告示して招集し、教育委員会の権限に属するすべてを審議する。 臨時会は、随時付議事件を告示して招集し、告示された事件について審議する（急施を要するものを除く）。													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
傍聴人数	定例会	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人
	臨時会				0人							0人	0人	0人
臨時会の回数		0回	0回	0回	1回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	1回	3回

(2) 付議事件関係

総務課

区分	教 育 長 提 出					年 間 延 べ 数
	条例改正案等	規 則 令 ・ 等	予 算 案	人 事	そ の 他	
定 例 会	2件	7件	4件	9件	7件	29件
臨 時 会	0件	0件	0件	7件	2件	9件
合 計	2件	7件	4件	16件	9件	38件

※ 「その他」には、教育委員会の方針決定等を含む。

(3) 付議事件の結果関係

総務課

区分	教 育 長 提 出				年 間 延 べ 件 数
	原 案 可 決	修 正 可 決	否 決	そ の 他	
定 例 会	29件	0件	0件	0件	29件
臨 時 会	9件	0件	0件	0件	9件
合 計	38件	0件	0件	0件	38件

※ 「原案可決」には、承認・認定・同意を含む。

(4) 教育委員会視察活動

総務課

事業目的	視察回数	視察会場	視察目的	事業成果
教育委員会定例会議を市内小中学校や社会教育施設で開催し、現場の視察や施設長から運営状況等を聞くことで、現状把握のための情報収集等を行うことができる。	7回	図書館本館 (5月15日)	館長による利用状況及び活動状況等の報告と館内視察	机上の報告書だけではなく、教育活動現場を視察し、生の声を聞くことで、教育施設を取り巻く環境やさまざまな活動を確認し、活発な意見交換を行うことができた。
		さかえ小学校 (6月12日)	校長による学校経営状況の報告及び校内視察	
		幸手小学校 (7月10日)	校長による学校経営状況の報告及び校内視察と給食の試食	
		中央公民館 (8月21日)	館長による利用状況及び活動状況等の報告と館内視察	
		権現堂川小学校 (9月18日)	校長による学校経営状況の報告及び校内視察	
		さくら小学校 (10月9日)	校長による学校経営状況の報告及び校内視察と給食の試食	
		長倉小学校 (11月13日)	校長による学校経営状況の報告及び校内視察	

(5) 定例会協議事項

総務課

事業目的	協議事項議題	定例会開催日
隔月で、教育に係る諸課題・諸問題等について、調査・研究を行い、テーマを定めて協議を行うとともに、先進地事例から学ぶことで教育の質の更なる向上を図る。	コミュニティスクールについて	平成30年5月15日
	先進地事例から学ぶ ～三芳町立図書館の運営状況等について～	平成30年6月12日
	個人情報の取り扱いについて	平成30年7月10日
	教職員の働き方改革と校務のICT化について	平成30年8月21日
	学校における働き方改革について	平成30年9月18日
	学力学習状況調査の成果と課題について	平成30年10月9日
	校務支援システムについて	平成30年11月13日
	教育大綱策定に向けた市長との意見交換	平成30年12月18日

◎ 総合教育会議

総務課

事業概要	総合教育会議は、市長と教育委員会とが相互の連携を図り、重点的な施策等についての協議を行う。		
開催月、協議・調整事項及び傍聴人数	開催月	協議・調整事項	傍聴人数
	1月	幸手市教育大綱の策定について	0人
	2月	幸手市教育大綱の策定について	0人

◎ 児童生徒健全育成事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ、不登校、非行、問題行動等の生徒指導の諸課題を協議し、健全育成に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 幸手市教育相談連絡会 学校ごとに年4～6回参加者 校長、教頭、生徒指導主任、教育相談主任、指導主事、スクールソーシャルワーカーなど 	生徒指導上の諸課題について認識を深めるとともに、児童生徒の健全育成に寄与した。

◎ 幸手市いじめ問題対策連絡協議会

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）第14条第1項の規定に基づき、幸手市いじめ問題対策連絡協議会を置く。	6月26日（火） 市内のいじめの現状について 11月1日（木）～15日（木） 幸手市いじめ防止強化期間 12月19日（水） いじめ防止の標語の選定 「学校生活アンケート」の結果について	啓発品を作成し、市内全園児児童生徒及び市内各公民館に配布し、啓発を図った。 幸手市いじめ防止強化期間を市民に周知するため、横断幕を掲示した。 市内小中学校の全児童生徒にいじめ防止のための標語を作成してもらい、審査を行った。最優秀賞の作品は、次年度の啓発品に掲載する予定である。

◎ 教育支援員等の配置

指導課

事業名	事業目的	配置場所数	事業成果
教育支援員配置事業	障害のある児童生徒及び学習に課題のある児童生徒の在籍する学級を有する学校において、児童生徒の生命の安全を確保するとともに、生活指導、学習指導の充実を図る。	・小学校 9校 18人 ・中学校 3校 9人	障害のある児童生徒及び学習に課題のある児童生徒の在籍する学級を有する学校において、児童生徒の安全を確保し、学習の充実が図れた。
さわやか相談員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成を図る。	・中学校 3校 3人	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、さらに学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成が図れた。
教育相談員・心すこやか支援員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための学習・生活面の支援を行い、教育相談体制の充実を図る。	・心すこやか支援室 (旧シルバー人材センター内) 教育相談員 1人 心すこやか支援員 4人	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための適応指導を施し、教育相談体制の充実が図れた。
日本語指導員配置事業	市内小・中学校の児童生徒のうち、外国語を母語とする児童生徒の学習指導等に対応するため、日本語指導員を配置し学力の向上を図る。	・市内小中学校 3人	外国語を母語とする児童生徒の学習指導等に担任や教科担任と連携して「個に応じた支援」を行い、学習の充実が図れた。
ふれあい相談員配置事業	市内小・中学校におけるいじめや不登校の児童生徒及び保護者との相談に応じるとともに、学校、家庭、地域との連携を図るため、ふれあい相談員を配置し、健全な児童生徒の育成を図る。	・中学校 3校 3人	幸手市さわやか相談員と連携し、児童生徒との相談・援助を行うことで、不登校傾向のある児童生徒の心の安定や学習の充実が図れた。

◎ 道徳教育推進事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童生徒の豊かな心をはぐくむため、道徳教育に係る外部講師を招き、教員の指導力向上を図るとともに、幸手市郷土資料「道徳のまち さって」「道徳のまち さって ハンドブック」を活用し、道徳教育の推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別の教科 道徳」実施を踏まえた外部講師による講演 2人 ・幸手市郷土資料「道徳のまち さって」「道徳のまち さってハンドブック」を活用した道徳の授業を実施 ・埼玉県道徳教育推進モデル校（行幸小学校）による道徳教育の研究推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招き、広く内の教員を対象に講演会を実施し、市内教員の道徳教育における指導力向上が図れた。 ・市内教員等が構成員となり、幸手市の郷土や歴史を扱った郷土資料を活用し、道徳教育の推進が図れた。 ・モデル校の研究発表会をとおして、市内小中学校における道徳教育の指導方法の工夫や改善が図れた。

◎ 外国青年招致事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内中学校の英語指導及び小中学校の外国語活動の充実を図るため、語学指導助手（ALT）として外国青年を招致する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致 アメリカ合衆国 3人 イギリス 1人 ・市内中学校の英語指導 ・国際理解教育の推進 ・市内小学校の外国語活動の指導 	<p>児童生徒が英語の授業に対して主体的に、楽しく取り組み、コミュニケーション活動が更に充実し、英語学習への動機づけを図ることができた。</p> <p>小学校における外国語活動の充実を図ることができた。</p>

◎ さってアフタースクール事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童の学力向上、学習の習慣化のため、放課後の教室を利用して、地域の教員OBなどが国語・算数を中心に、授業の復習や宿題の支援等、児童へ学習支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者 市内9校の小学校4～6年生 ・開催回数 108回 ・参加人数 311人 	<p>児童への学習支援により、児童の学力向上を図ることができた。また、学ぶことの楽しさを見つけることで、学習の習慣化を図ることができた。</p>

◎ 体力向上推進事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内小中学校に体力向上に関する研究を委嘱したり、ロードレース大会を開催するなど、児童・生徒の体力の向上を推進する。</p>	<p>研究委嘱関係 上高野小学校・幸手中学校 委員会関係 体力向上推進委員会 6回 大会関係 小学校ロードレース大会 期日 10月18日（木） 参加者 児童生徒200人</p>	<p>運動に対する興味関心を高め、体力の向上を図ることができた。また、日常生活において児童生徒に主体的な健康の保持増進を図る態度が育成できた。</p>

◎ 学校給食調理業務委託事業

総務課

事業目的	委託校	事業概要	事業成果
学校給食調理業務を効果的・効率的に運営し、安心・安全な給食を提供する。	全小・中学校 (小学校 9 校) (中学校 3 校)	学校給食(自校調理方式)における調理業務を民間業者に委託する。 (事業費179,313,696円)	民間委託を推進することで、効果的・効率的に給食調理業務を運営することができた。

◎ 学校給食関係事業

総務課

事業目的	学校給食の安全向上のため、学校栄養士及び食品の細菌検査等を実施する。		
検査名等	対象	事業概要	事業成果
検便検査	学校栄養士等 12人	サルモネラ菌・病原性大腸菌 O-157 検査 (月2回) (事業費79,520円)	検査、講習会を通して、学校給食食材の安全及び衛生管理の徹底を図れた。
給食食品検査	給食食材 30検体	給食食材の検査(サルモネラ菌・病原性大腸菌 O-157 検査) (事業費132,840円)	

◎ 学校給食食材放射性物質の測定

総務課

事業目的	事業概要	事業成果
放射線に対する保護者の不安を解消するため、学校給食に使用する食材の放射性物質の測定を行う。	国産食材 4 検体の放射性物質の測定を月 1、2 回(全21回)実施した。 (事業費38,690円)	放射性物質は検出されなかったため、保護者の放射線への不安を解消することができ、安心安全な給食を提供することができた。

◎ 小中学校プール水放射性物質の測定

総務課

事業目的	事業概要	事業成果
放射線に対する保護者の不安を解消し、児童・生徒が安全にプールの授業を実施するため、小中学校のプール水について放射性物質の測定を行う。	プール開き後(全校)の放射性物質の測定を実施した。 (事業費 194,400円)	放射性物質は検出されなかったため、保護者の放射線への不安を解消することができ、安心してプール事業を実施できた。

◎ 保健・健康事業

総務課

事業目的	学校保健安全法に基づき、児童、生徒及び教職員の健康管理のため、各種検診を実施する。		
検診名	検診対象者	事業概要	事業成果
心臓検診	小学校 1・4年生 中学校 1年生	心電図、医師の問診等による 検診 (事業費 2,378,160円)	受診者数 1,101人 受診率 99.2%
尿検査	小・中学校 全児童・生徒	検尿による尿糖、タンパク 等の検査 (事業費 748,872円)	受診者数 3,467人 受診率 99.4%
小児生活習慣病 予防健診	小学校 4年生	採血、血圧、医師の問診等 による検査 (事業費 1,191,456円)	受診者数 394人 受診率 99.0%
脊柱側彎症 ^{わん} 検診	中学校 1年生	モアレトポグラフィー法に よる検査 (事業費 228,744円)	受診者数 353人 受診率 98.9%
結核検診	児童・生徒 (要精密検査 受診者) 教職員	児童・生徒 胸部X線撮影 による精密検査 教職員 胸部X線撮影 (事業費 335,508円)	児童・生徒 10人 教職員 168人
健康診断 胃がん検診 大腸がん検診	教職員	健康診断・胃部X線撮影・ 便潜血反応検査 (事業費 1,936,570円)	健診受診者数 168人 胃がん受診者数 50人 大腸がん受診者数 74人

◎ 学校給食費補助金（指定補助）

総務課

事業目的	多子世帯の学校給食費を援助することで保護者の経済的負担を軽減し子育て支援の推進を図る。					
区分	第2子	金額	第3子 以降	金額	合計	金額
市内小学生	702人	16,480,076円	91人	4,117,250円	793人	20,597,326円
市内中学生	67人	1,744,877円	0人	0円	67人	1,744,877円
特別支援学校 (小・中学生)	3人	38,273円	1人	52,200円	4人	90,473円
合計	772人	18,263,226円	92人	4,169,450円	864人	22,432,676円
事業成果	保護者の経済的負担を軽減し子育て支援の推進が図れた。					

◎ 就学援助及び特別支援教育就学奨励事業

総務課

(1) 就学援助事業

事業目的	認定数	支給者及び援助額	事業成果
経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施を図るために必要な援助を行う。	児童生徒 649人 就学予定児童 47人	学用品費等 696人 28,523,085円 学校給食費 644人 30,566,898円	保護者の義務教育に係る費用の経済的な負担を軽減することにより、対象児童生徒に円滑な義務教育が実施できた。

(2) 特別支援教育就学奨励事業

事業目的	認定数	援助額	事業成果
特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対して経済的負担を軽減するために、特別支援学級への就学のための必要な経費の一部を援助する。	40人	1,466,108円	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励が図れた。

◎ 入学準備金貸付事業

総務課

事業目的	貸付者数及び貸付金額	事業成果
高等学校、大学及び専修学校への入学を希望する者の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対して、教育を受ける機会を与えることを目的として、貸付事業を行う。	大 学 3人 専修学校 1人 高等学校 1人 2,230,000円	保護者の経済的な負担を軽減すると共に、高等学校、大学、専修学校に入学を希望する者に対し、教育を受ける機会を与えることができた。

◎ 小中学校トイレ大規模改修事業

総務課

事業目的	学校トイレの洋式化を行うとともに、室内の衛生面、環境面の向上を図る。		
事業概要	校舎内トイレ及び屋外トイレの洋式化を含めた全面改修工事を行う。また、未改修校の実施設計を行う。		
事業費	八代小学校 工事請負費 75,351,600円 さくら小学校 工事請負費 120,074,400円 東中学校 工事請負費 99,684,000円 西中学校 工事請負費 126,932,400円 (以上、平成29年度からの繰越(繰越明許費)) 権現堂川小学校 設計委託料 3,564,000円 吉田小学校 設計委託料 4,730,400円 長倉小学校 設計委託料 1,609,200円 さかえ小学校 設計委託料 6,318,000円	監理委託料 2,268,000円 監理委託料 4,536,000円 監理委託料 4,320,000円 監理委託料 5,400,000円	
事業成果	学校トイレの洋式化を行い、室内の衛生面、環境面の向上が図れた。		

◎ 中学校武道場吊り天井改修事業

総務課

事業目的	大規模な地震による天井材の落下を防ぐため、耐震化を行い安全を図る。
事業概要	武道場の吊り天井の耐震化工事を行う。
事業費	幸手中中学校 工事請負費 18,487,440円 東中学校 工事請負費 14,366,160円 (以上、平成29年度からの繰越(繰越明許費))
事業成果	幸手中中学校及び東中学校の武道場の吊り天井の耐震化工事を実施したことで、市内全中学校の武道場が耐震化され安全性が向上した。

◎ 吉田幼稚園学級・園児数(平成30年5月1日現在)

指導課

学 級 数				園 児 数			
年少	年中	年長	合計	年少	年中	年長	合計
1学級	1学級	1学級	3学級	15人	20人	15人	50人

◎ 吉田幼稚園環境整備事業

指導課

事業名	事業概要	事業成果
絵本購入	保育室等の絵本を購入する。 (事業費 57,344円)	子供たちが興味・関心をもつ絵本等を購入したことで情緒の安定や情操教育などの教育環境を整えることができた。

◎ 私立幼稚園関係補助事業(指定補助)

こども支援課

補助金名	事業概要	補助内容	事業成果
私立幼稚園就園奨励費補助金	私立幼稚園に通園する市内の園児の保護者の所得状況に応じた経済的負担軽減等を図るため、入園料及び保育料の一部を補助する。	545件 78,861,100円	市内の園児の保護者の経済的負担軽減が図れた。
私立幼稚園振興補助金	市内の私立幼稚園の振興を期するためにその設置者に対して、予算の範囲内で補助する。	5園 2,700,000円	市内の私立幼稚園の備品及び施設管理の充実に寄与した。
私立幼稚園保育料軽減事業補助金	市内の私立幼稚園に通園する市内の園児の保護者への経済的負担軽減を図るために、保育料の一部を補助する。	481件 3,367,000円	市内の私立幼稚園に通園する市内の園児の保護者の経済的負担を軽減した。

◎ 人材バンク（さって市民生きがい教授）設置事業

社会教育課

事業目的	生涯学習の機会を広げるために、様々な分野の指導者の登録を行い、誰もが活用できるよう情報提供を行う。
登録者数	61人
事業成果	指導者に関する詳しい情報をホームページで公開することで学習機会を求める市民がいつでも情報を入手することができた。

◎ 家庭教育学級開設事業

社会教育課

事業目的	保護者が自信をもって子育てをするために、相互の交流親睦を深め、仲間づくりを行いながら様々な学習に取り組む場を設ける。					
期間	平成30年4月～平成31年2月					
運営	各学級が自主的に実施					
方法	委託事業 11団体 合計 297,000円 1団体の委託料は27,000円を上限とする。					
説明会	平成30年5月23日(水) 市役所第1会議室 埼玉県家庭教育アドバイザーによる体験講座を同日実施。					
事業内容	No.	学級開設団体名	対象	回数	延べ参加者数	学習領域
	1	幸手小学校 P T A	会員	4回	59人	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活習慣に関すること ・子育てに関すること ・教育に関すること ・社会環境に関すること
	2	権現堂川小学校 P T A	会員	2回	24人	
	3	上高野小学校 P T A	会員	3回	102人	
	4	八代小学校 P T A	会員	2回	29人	
	5	吉田幼稚園 P T A	会員	3回	65人	
	6	第二幸手幼稚園 母の会	会員	5回	93人	
	7	幸手さくら幼稚園 母の会	会員	3回	123人	
	8	幸手ひがし幼稚園 父母の会	会員	4回	379人	
	9	幸手白百合幼稚園 家庭教育学級	父母	3回	59人	
	10	幸手ひまわり幼稚園 保護者会	会員	3回	123人	
	11	サークル青空	会員	3回	70人	
合 計					1,126人	
事業成果	保護者が各学級に参加することで、子育てや教育に関する知識を習得しながら、相互に交流を図り、仲間づくりを進めることができた。					

◎ 社会教育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	青少年育成や文化活動など社会教育に関する活動を行う団体の活動を支援するために補助金を交付する。			
交付実績	団体名・会長名	主な活動	会員数等	交付額
	幸手市子ども会育成連絡協議会 会長 伊藤 浩和	さって郷土かるた大会 彩の国21世紀郷土かるた大会	6単位子ども会（吉田・権現堂川地区） 325人	800,000円
	幸手市連合婦人会 会長 森泉 美江子	中央学級 各種大会協力 ボランティア活動	3地区婦人会 （行幸・上高野・幸手）	285,000円
	幸手市文化団体連合会 会長 中村 孝子	文連作品展 文連発表会 文化祭 文連だより発行	49団体・5連合 1,214人 指導部 30人	729,000円
	幸手市PTA連合会 会長 佐藤 亮	PTA連合会だより発行 交通安全ポスターコンクール	12単位PTA 小学校 9校 中学校 3校	392,000円
	幸手市人権教育推進協議会 会長 山西 実	人権教育研修会	理事制	706,000円
	幸手市郷土芸能保存会 会長 小森谷 勝	後継者育成 伝承技術の向上	3団体 （千塚・松石・高須賀）	180,000円
	ボーイスカウト幸手団連絡協議会 代表 中村 行生	夏季キャンプ クリスマス会 ハイキング	30人	203,000円
	幸手文芸誌刊行委員会 会長 中村 恒雄	「文芸幸手」刊行	21人	356,000円
	幸手市青少年相談員協議会 代表相談員 長野 廣彬	清水公園 バスツアー 郷土かるた舞台巡り及び ジャンボかるた体験	16人	130,000円
	幸手市公民館クラブ連絡協議会 会長 富野 武彦	クラブ交流グラウンド ゴルフ大会 公民館まつり リーダー研修会	70クラブ 914人	100,000円
事業成果	関係団体に補助金を交付することで、事業運営を支援することができ、社会教育活動の推進が図れた。			

◎ 社会教育委員

社会教育課

事業目的	社会教育に関する計画の立案及び施策の推進に必要な調査研究を行うために設置する。	
事業内容	期日・会場	内 容
	5月18日（金） 春日部市中央公民館	埼玉葛郡市社会教育振興会総会・研修会 (1) 29年度事業報告・30年度事業計画等について (2) 表彰 (3) 研修会（講演会）
	5月31日（木） 行田市商工センター	埼玉縣市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会 (1) 29年度事業報告・30年度事業計画等について (2) 表彰 (3) 研修会
	6月29日（金） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 (1) 社会教育委員会議について (2) 「子育てのための学校・家庭・地域のよりよい連携の在り方」 ほか
	7月19日（木） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 (1) 幸手市文化祭の展示について ほか
	8月24日（金） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 (1) 幸手市文化祭の展示について ほか
	9月20日（木） ウェルス幸手研修室	幸手市社会教育委員会議 (1) 幸手市文化祭の展示等について (2) 研修課題「子育てのための学校・家庭・地域のよりよい連携のあり方」について ほか
	10月19日（金） 市役所第1会議室	幸手市社会教育委員会議 (1) 幸手市文化祭の展示内容の校正について ほか
	10月25日（木） 幸手市郷土資料館 講座室	幸手市社会教育委員会議 (1) 幸手市文化祭の展示内容の最終確認 ほか
	12月20日（木） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 (1) 幸手市文化祭展示部門の反省と今後に向けて (2) 平成31年度に開催予定の埼玉葛郡市社会教育振興研修会の発表に向けて ほか
	1月24日（木） 行田市教育文化センター「みらい」	東部地区社会教育関係委員・職員研修会 (1) 講演会「学びの循環のある地域社会について」 (2) 実践発表「行田市・白岡市」
	3月7日（木） ウェルス幸手 第1会議室	幸手市社会教育委員会議 (1) 平成30年度社会教育委員関係事業報告について (2) 平成31年度埼玉葛郡市社会教育振興会（東部地区社会教育関係委員・職員研修会）の発表に向けて ほか
事業成果	社会教育に関する現状と課題について、調査研究を行うとともに、問題の解決に向けた今後の方向性を示すことができた。	

◎ すこやか子育て講座開催事業

社会教育課

事業目的	核家族化やコミュニティ意識の希薄化による家庭教育力の低下を改善するため、小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育に関する講話や意見交換など、子育てについて学べる機会を設ける。				
謝金	7,000円×9校=63,000円				
対象	平成31年度新1年生の保護者				
事業内容	学校名	開催日	テーマ	講師名	参加者数
	幸手小	10月3日(水)	小学校入学までに家庭で準備しておきたいこと	望月光子	48人
	権現堂川小	10月4日(木)	小学校入学までに子ども達に身につけて欲しいこと ～子どもの自立に向けて～	島田雪子	10人
	行幸小	10月4日(木)	小学校入学までに家庭で準備しておきたいこと	望月光子	34人
	吉田小	10月4日(木)	家庭教育力向上をめざして	関千代子	13人
	さかえ小	10月4日(木)	入学前の家庭生活について	小池幸子	20人
	さくら小	10月5日(金)	社会のマナーやルールは家庭から	島田雪子	70人
	八代小	10月11日(木)	小学校入学までに家庭で準備したいこと	望月光子	18人
	長倉小	10月12日(金)	入学前の家庭生活について	島田雪子	77人
	上高野小	2月6日(水)	入学前の子育てについて	島田雪子	45人
	合計				
事業成果	小学校入学前の子どもの状態や保護者の心構えなどを学ぶことにより、子育てに必要な知識等を習得することができた。講座と併せて実施した保育ボランティアの派遣により、保護者が講座に集中して参加するための環境整備も整えることができた。				

◎ 子どもセンター事業

社会教育課

事業目的	青少年の体験活動を推進するため、サーチ隊（子ども編集員）による取材を基にした情報紙の発行、長期休暇中のバスツアーや体験講座の企画・運営を行う。															
事業内容	<p>◎年間テーマ 『乗り物』</p> <p>(1) 情報紙の発行（年3回） ※サーチ隊の取材・記事作成の指導を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 「わく²幸手っ子プチ」 ・発行内容 <ul style="list-style-type: none"> ①No.34夏号（7月発行）：サーチ隊がゆく！鉄道博物館取材、夏休みに出かけよう（施設情報）、つくってみてみて「缶馬（缶ポックリ）」 ②No.35冬号（12月発行）：サーチ隊がゆく！ワク井ミュージアム、加須はなさき水上公園取材、除夜の鐘と初詣、つくってみてみて「よく飛ぶ紙飛行機」 ③No.36春号（3月発行）：サーチ隊がゆく！幸手駅新駅舎工事現場取材、幸手駅記念イベント情報、新年度サーチ隊募集、つくってみてみて「のりものペーパークラフト」 ・発行形式 A4版 両面 色紙 1色刷り ・発行部数 各2,800部 ・配布先 市内小学校の全児童、市内公共施設の情報コーナー ・編集 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター4人 ・サーチ隊（子ども編集員）11人（公募小中学生） ・編集会議 <ul style="list-style-type: none"> サーチ隊編集会議 7回 取材・編集等 編集会議 7回 企画・編集・校正等 <p>(2) 壁新聞の発行（年3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 「さてライト新聞」 ・発行内容 <ul style="list-style-type: none"> ①7月発行：今年度サーチ隊紹介、乗り物に乗れる施設情報、夏休みバスツアー告知 ②10月発行：夏休みバスツアー報告、乗り物の学習ができる施設情報、冬休み体験教室告知 ③3月発行：冬休み体験教室報告、サーチ隊の一年間、サーチ隊募集告知 ・発行形式 A2版 カラー ・発行部数 18部 ・配布先 市内小学校、公民館、図書館、社会教育課 ・編集 コーディネーター4人 ・協力 サーチ隊（子ども編集員）11人（公募小中学生） ・編集会議 5回 ※「わく²幸手っ子プチ」と共同実施 <p>(3) 体験活動の企画運営（イベントの開催など）・活動内容</p> <table border="1" data-bbox="375 1534 1500 1915"> <thead> <tr> <th>期 日</th> <th>内 容</th> <th>対 象</th> <th>参 加 者 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①7月30日（月） ②8月24日（金）</td> <td>子どもわくわくバスツアー SLパレオエクスプレス （寄居－長瀨間） 埼玉県立自然の博物館 （長瀨町）</td> <td>小学1年 ～6年生</td> <td>①30人 ②30人 合計60人 （定員各30人） ※応募131人</td> </tr> <tr> <td>12月25日（火）</td> <td>冬休み体験教室「作って・のって・遊ぼう」（缶馬づくり・竹馬・竹とんぼ体験）</td> <td>小学1年 ～6年生</td> <td>18人 （定員30人） ※応募18人</td> </tr> </tbody> </table>				期 日	内 容	対 象	参 加 者 数	①7月30日（月） ②8月24日（金）	子どもわくわくバスツアー SLパレオエクスプレス （寄居－長瀨間） 埼玉県立自然の博物館 （長瀨町）	小学1年 ～6年生	①30人 ②30人 合計60人 （定員各30人） ※応募131人	12月25日（火）	冬休み体験教室「作って・のって・遊ぼう」（缶馬づくり・竹馬・竹とんぼ体験）	小学1年 ～6年生	18人 （定員30人） ※応募18人
期 日	内 容	対 象	参 加 者 数													
①7月30日（月） ②8月24日（金）	子どもわくわくバスツアー SLパレオエクスプレス （寄居－長瀨間） 埼玉県立自然の博物館 （長瀨町）	小学1年 ～6年生	①30人 ②30人 合計60人 （定員各30人） ※応募131人													
12月25日（火）	冬休み体験教室「作って・のって・遊ぼう」（缶馬づくり・竹馬・竹とんぼ体験）	小学1年 ～6年生	18人 （定員30人） ※応募18人													
事業成果	平成30年度はさいたま市の鉄道博物館リニューアル、幸手駅新駅舎工事など、テーマ「乗り物」に関連した話題への取材を行えた。サーチ隊は活動を通じて社会性や協調性を育みながら体験できた。また、情報紙を市のホームページに掲載することで、対象となる小学生だけでなく広く市民に周知できた。															

◎ 放課後子ども教室開催事業

社会教育課

事業目的	放課後の時間に小学生を対象にして、地域の協力により、スポーツ・文化などさまざまな体験の場を設け、知識・体力の向上を図りながら交流を深める。			
対象	小学生児童（放課後子ども教室実施小学校）			
事業内容	学校名	内 容	実 施 期 間	参加者数
	吉田小学校	卓球教室	4月～3月（全24回）	延べ550人
	吉田小学校	和太鼓教室	7月～3月（全13回）	延べ246人
事業成果	吉田小学校において、地域の協力を得ながら、スポーツや文化活動を体験できる場を設定することができ、知識・体力の向上が図られた。			

◎ 青少年健全育成事業

社会教育課

事業目的	次代を担う青少年の健全育成を図るために、「青少年育成推進員」によって相互の連絡調整や健全育成啓発活動などを行う。		
事業内容	期日・会場	内 容	
	7月5日（木） 市役所 第2会議室	【第1回会議】 (1) 平成29年度活動状況報告 (2) 平成30年度活動計画について (3) 学校訪問について (4) 市内非行防止パトロールについて (5) その他	
	7月19日（木） 市役所 第2会議室	【第2回会議】 (1) 非行防止啓発活動について (2) 学校訪問について (3) 第3回青少年育成推進員協議会会議・第1回非行防止パトロールについて (4) その他	
	7月19日（木） 幸手駅 杉戸高野台駅	【街頭キャンペーン】 幸手駅前と杉戸高野台駅にて、非行防止チラシ等を配布した。（参加者10人）	
	8月29日（水） 市役所 第1会議室	【第3回会議】 (1) 学校訪問について (2) 非行防止パトロールについて (3) 推進員研修内容の希望について (4) 今後のスケジュールについて (5) その他	
	8月29日（水） 市内	【非行防止パトロール】 公園やゲームセンターを中心に2班に分かれて巡回した。（参加者11人）	

◎ 青少年健全育成事業のつづき

社会教育課

	期日・会場	内 容
事業内容	11月28日（水） 市役所 第1会議室B	【第4回会議・研修】 講演①：薬物乱用の根絶を目指して 講 師：埼玉県警察本部刑事部組織犯罪対策局薬物銃器対策課 大橋 均 氏 講演②：青少年のネット問題について 講 師：埼玉県ネットアドバイザー・幸手市青少年育成推進員 協議会 会長 藤原 徹也 氏 (1) 今後のスケジュール
	12月21日（金） 市 内	【非行防止パトロール】 ショッピングモールやゲームセンターを中心に2班に分かれて 巡回した。 (参加者10人)
	2月20日（水） 市役所 第1会議室A	【第5回会議】 (1) 学校訪問報告 (2) 情報交換等 (3) 平成30年度幸手市青少年育成推進員協議会の活動について (4) 第3回非行防止パトロール (5) その他
	3月28日（木） 市 内	【非行防止パトロール】 公園や神社を2班に分かれて巡回した。 (参加者11人)
	そのほかの活動 ・学校訪問（9月～2月）小学校8校 中学校2校 高校1校 ・幸手市青少年育成推進員だよりの発行	
事業成果	青少年育成推進員による啓発活動や市内パトロールの実施により、青少年健全育成に関する地域環境の向上が図られた。	

◎ 平成31年成人式開催事業

社会教育課

事業目的	新成人の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促しながら、故郷を再認識し、地域に貢献できる人づくりを図るために、式典を開催する。	
主 催	幸手市・幸手市教育委員会	
運 営	幸手市成人式実行委員会 実行委員（新成人）11人 協力員（社会教育関係者）5人	
方 法	委託事業	委託料 792,477円
期日・会場	平成31年1月13日（日） 市民文化体育館 さくらホール	
対 象	平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人	
参加者数	318人（参加率：74%）	
事業内容	テーマ：「Present ～未来への贈り物～」 内 容：①式典 ②アトラクション＝クイズ、抽選会	
事業成果	旧交を温めつつ、新成人として社会に踏み出す自覚を促す機会を提供することができた。また、新成人で構成される実行委員会を組織し、自らの手で式典を構成することで、責任感を醸成するとともに、協力することの大切さを認識してもらうことができた。	

◎ 平成30年度還暦式開催事業

社会教育課

事業目的	満60歳を迎えた方々に「還暦」をお祝いするとともに、積極的に地域貢献活動等に関わるアクティブシニアに向けての働きかけを行い、もって生涯学習の進展や地域の活性化等を推進するための情報提供の場として、還暦式（3回目の成人式）を開催する。
主催	幸手市・幸手市教育委員会
運営	教育委員会 社会教育課 市民生活部 市民協働課 健康福祉部 介護福祉課
事業費	389,617円（報償費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費）
期日・会場	平成30年11月23日（祝・金） 北公民館
対象	平成29年度に還暦を迎えた方
参加者数	311人（内 満60歳98人）
事業内容	内 容：①式典 ②講演 「もう」と「まだ」～父・金田正一との会話～ 講師 金田賢一氏 ③社会参加実例発表 NPO法人幸手市芸術文化振興協会による合唱団 （アクティブシニア中心）の発表 ④アトラクション 翠千賀氏（オペラ歌手）によるトークと歌
事業成果	「還暦式」を実施することにより、定年退職などにより第二の人生を迎える市民が、セカンドライフを有意義に過ごしていただくための仲間づくりや地域貢献、生涯学習等に役立つ情報を提供できた。

◎ 人権教育推進協議会関係事業

社会教育課

事業目的	幸手市における同和問題をはじめとする様々な人権教育の振興を図り、明るい地域社会の形成に寄与するために人権教育に関する研修会等を実施する。			
事業内容	行事名	期日・会場	参加者数	備考
	人権教育研修会	5月14日（月） 市役所	53人	人推協役員、研究委員 人権啓発DVD視聴 タイトル「あした咲く」
	人権教育研修会 （人権作文発表会）	12月9日（日） 北公民館	232人	市内小・中学生による人権作文 の発表
事業成果	研修会等を開催することにより、人権啓発並びに指導者の養成及び資質の向上を図ることができた。			

◎ 集会所事業

社会教育課

事業目的	子どもたちを中心に、地域に住む様々な人々の相互理解の促進と、交流を深めるための活動を実施する。			
事業内容	行 事 名	期 日 ・ 会 場	参加者数	備 考
	体 力 づ くり 会 親 子 運 動 会	5月19日（土） 上高野小学校	387人	親子運動会への支援
	夏のおはなし会	7月23日（月） 南公民館	59人	こわいおはなし
	子ども料理教室	12月9日（日） 南公民館	15人	スイートポテトと 豆腐入り白玉団子づくり
	子どもお楽しみ会	1月19日（土） 南公民館	31人	人権啓発のアニメ映画上映と ビンゴ大会
	子ども料理教室	2月3日（日） 南公民館	8人	レモン風味マフィンと れんこんもちづくり
事業成果	おはなし会、料理教室、映画会などを開催し、多くの方の参加を得られ交流を図ることができた。			

◎ 無形文化財保存事業（一般補助）

社会教育課

事業目的	郷土芸能の保存及び伝承のために、保存会の育成を図る。		
対 象	幸手市郷土芸能保存会 ①千塚ささら獅子舞保存会 ③高須賀大杉ばやし保存会	②松石ささら獅子舞保存会	
事業内容	後継者育成と伝承技術の向上のため地区ごとに練習を実施し、それぞれの地区ごとに祭礼を行う。併せて、郷土芸能大会を実施する。		
補助金額	180,000円		
事業成果	無形文化財としての郷土芸能に親しむ機会を設け、後継者育成と伝承技術の向上に寄与することができた。		

◎ 文化財保護審議会

社会教育課

事業目的	市の区域内に所在する文化財の調査、保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に応じ重要事項を審議し、かつ、これらの事項に関し必要と認める事項を建議するために設置する。	
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容
	1月25日（金） 郷土資料館 講座室	(1) 幸手市の区域内に所在する文化財の指定に関する審議について (2) 平成30年度（後期）幸手市郷土資料館の主な事業について (3) その他
	3月25日（月） 市役所 第2会議室	(1) 平成31年度文化財保護事業計画について (2) 市指定文化財の新規指定候補について (3) その他
事業成果	市の文化財保護行政の実績と計画について理解し、委員としての認識が高まるとともに、委員からも文化財保護事業に対する提言や文化財活用にかかわる地域の細かな情報提供があり、文化財保護の重要性を共有することができた。併せて、市指定文化財の新規指定に向けた審議を行った。	

◎ 文化遺産保存公開事業

社会教育課

(1) 郷土資料館開館日数及び入館者数

	平成30年度	
開館日数	133日	
入館者数	4,166人	

※ 平成30年10月23日（火）～平成31年3月31日（日）の開館日数及び入館者数を掲載

(2) 郷土資料館収蔵資料調査事業

事業目的	郷土資料館収蔵資料の保存と活用を図るため、未整理の古文書等の整理と調査を行うとともに、古文書等整理市民ボランティアの養成を目的とし実施する。
事業内容	史料の取扱い等に精通し、歴史学について専門的知識を有する嘱託史料専門員と、古文書等整理市民ボランティアとが、郷土資料館で収蔵している古文書等について調査・整理・資料台帳の作成を行うもの。
実施回数	42回（1月～3月）
参加者数	延べ159人
事業成果	郷土資料館が収蔵する古文書約1,000点を整理し、今後活用することができるようになった。さらに、市民ボランティアを養成し、この事業をとおして、市民に生涯学習の場を提供することができた。

(3) 展示公開事業

事業目的	幸手の歴史を通覧する常設展示だけでなく、ある特定のテーマに絞った特別展示・企画展示等を実施することで、幸手の歴史と文化の深みや多様性について周知を図る。
事業内容	<p>① 特別展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 権現堂堤の歴史 ・ 内容 市指定文化財の権現堂堤修復絵馬をはじめ、権現堂堤にかかわる資料のほか、解説パネル、写真パネルを展示し、権現堂堤の築堤から今に至る歴史について説明した。 ・ 展示期間 10月23日～4月21日 ・ 展示図録 1,000部（見学者に無償配布） ・ 印刷費用 231,120円 <p>② エントランス展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 実業家 熊倉良助ゆかりの「御殿飾り雛」 ・ 内容 郷土資料館の収蔵資料である御殿飾り雛を約20人の市民ボランティアとともに飾り付けし、展示した。 ・ 展示期間 2月10日～3月24日
事業成果	<p>郷土資料館の開設を記念して実施した特別展「権現堂堤の歴史」は、観光名所として名声を高めた権現堂堤について、本来の役割である堤防としての歴史に焦点を当てたことで、市民のみならず多くの人びとに、より深く権現堂堤について知ってもらうことができた。</p> <p>また、エントランス展示では、貴重な御殿飾り雛の展示が新聞で取り上げられたため、市外からも多くの見学者が訪れ好評であった。</p>

(4) 第16回市史講座の開催

事業目的	<p>本講座は、市史編さん事業で得られた成果を活かし、幸手の歴史と文化を解説するものである。</p> <p>さらに、幸手固有の歴史と文化に関心を深めた市民が、今後のまちづくりに文化的視点をもって取り組めるよう、情報提供という観点からその後押しをすることも目的としている。</p> <p>第16回目の市史講座では、「関宿向河岸の河岸問屋 喜多村家と干鰯」というテーマで、干鰯問屋だけでなく、村や江戸で土地を集積した地主でもあった喜多村家の多角的な経営の様子や、喜多村家が家業として取り扱った干鰯のことについて造詣の深い講師に講義を依頼し、その内容について市民の理解を深めることを目的とした。</p>			
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容	講 師	参加者数
	8月18日（土） 市役所第1会議室	関宿向河岸喜多村家の「永続」計画－江戸における土地集積を中心に－	岩淵 令治	70人
	9月1日（土） 市役所第1会議室	関宿向河岸は干鰯の一大ターミナル～江戸時代を変えたイワシ肥料の生産と流通～	榎 美香	66人
事業成果	<p>専門的見地の高い両講師による講義は、重厚かつ明解で受講者からも好評が得られた。二つの講義を通して、関宿向河岸や、喜多村家について再認識するとともに、市民の知的要求に応えることができた。アンケートによれば、いずれの講義も多くの受講生から、大変理解しやすく有意義であったという感想が多く寄せられた。また、定員を上回る申込みがあったことも、大きな成果だった。</p>			

(5) 初心者のための古文書学習講座の開催

事業目的	<p>本講座は受講者が、市が収集した市域の古文書をテキストとして学習体験することを通して、まず地域の歴史を学び知ることの楽しさを感じることを第一の目的とする。</p> <p>さらに、ふるさと幸手に対する郷土愛や文化財を大切に思う気持ちを育んだ学習者が、幸手市民であることに誇りを抱き、その結果、幸手の文化的発展あるいは文化財の継承のため、自発的に考え、行動する人づくりを第二の目的とする。</p>			
事業内容	期日・会場	内 容	講 師	参加者数
	6月16日（土）～ 1月19日（土）全6回 郷土資料館	①江戸時代の木版本を読む ②江戸時代の古文書（地方文書）を読む	郷土資料館 学芸員	一般 延べ170人
事業成果	<p>古文書に記されたくずし字の解読だけではなく、古文書が作成された時代背景や地域の歴史の解説を盛り込んだ講義を行った結果、受講者からは好評が得られた。</p>			

(6) ものづくり体験学習講座（機織り体験）

事業目的	<p>幸手の歴史に関連した地域資源を活かすことを目的とし、郷土資料館でものづくり体験講座事業を実施し、幸手の歴史や文化について周知を図る。</p>			
事業内容	<p>機織り機で、コースターを織る体験をする。指導は、機織り体験学習市民ボランティア養成講座の受講生が行う。</p>			
実施回数	5回（1月～3月）			
参加者数	延べ36人			
事業成果	<p>「幸手白」とも呼ばれた白木綿の生産がかつて盛んに行われていた幸手の手仕事の歴史を楽しみながら知っていただき、高機や織物についての理解を広めることができた。</p>			

(7) 幸手市文化遺産だよりの発行

事業目的	<p>市民に資料保存・公開事業の状況や新発見の文化財について周知し、地域の文化遺産について理解を広める。</p>			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名 称 『幸手市文化遺産だよりの発行』第16号 ・ 内 容 平成30年10月23日に開設した幸手市郷土資料館について、施設の概要や講座等の事業を紹介するとともに、新たに指定した市指定文化財を紹介した。 ・ 発行日 平成31年3月1日 ・ 発行部数 21,000部（広報折込で全戸配布） ・ 印刷費用 183,708円 			
事業成果	<p>新たに開設した幸手市郷土資料館や新指定文化財について市民に周知することができた。</p>			

(8) 郷土資料館施設改修工事

事業目的	郷土資料館の開設準備を図るため、施設のバリアフリー等の改修工事を実施する。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
(仮称) 郷土資料室施設 改修工事(第2期)	下宇和田58番地4	内部バリアフリー改修工事 外部バリアフリー改修工事 外構車椅子駐車場改修工事 その他関連工事	8,208,000円
事業成果	外部スロープ、玄関ホール内スロープ、点字ブロック等の新設工事を行った結果、郷土資料館の開設準備を進めることができた。		

◎ 第58回文化祭

社会教育課

事業目的	日頃の文化活動の成果を発表する機会を設け、市民の文化交流を図る。				
主催	幸手市・幸手市教育委員会				
共催	幸手市公民館				
主管	第58回幸手市文化祭実行委員会				
協力	幸手市文化団体連合会・幸手市公民館クラブ連絡協議会				
方法	委託事業 委託料 2,194,237円				
事業内容	行事名	期間	会場	入場者・参加者数	
	展示部門	11月3日(土) ～4日(日)	市民文化体育館	5,086人	
	発表部門	11月3日(土) ～4日(日)	市民文化体育館	3,225人	
	大会	短歌大会	11月4日(日)	市民文化体育館	13人
		俳句大会	11月4日(日)	市民文化体育館	18人
		お茶会	11月3日(土) ～4日(日)	市民文化体育館	563人
		子ども囲碁大会	11月18日(日)	保健福祉総合センター	88人
		囲碁大会	11月17日(土)	保健福祉総合センター	71人
		将棋大会	11月25日(日)	コミュニティセンター	110人
	その他の催物	模擬店	11月3日(土)	市民文化体育館	233人
		展示部門体験コーナー	11月3日(土) ～4日(日)	市民文化体育館	385人
		お話し会	11月14日(水)	図書館(本館)	19人
			11月17日(土)	図書館(本館)	35人
合計				9,846人	
事業成果	当市最大規模の文化事業であり、多くの市民に幸手の文化を鑑賞する機会を提供することができた。				

◎ 公民館開館日数及び利用者数

社会教育課

公民館名	開館日数		利用者数	
	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度
中央公民館	347日	348日	33,118人	36,087人
勤労青少年ホーム	347日	348日	19,360人	20,188人
西公民館	347日	348日	37,548人	35,179人
北公民館	347日	348日	34,612人	38,780人
南公民館	347日	348日	36,175人	32,853人
東公民館	347日	348日	15,076人	18,199人

◎ 公民館主催事業

社会教育課

事業目的	生涯学習活動の拠点として、公民館の利用を促進し、活動の活性化を図るために、講座の開催やクラブ活動の成果を発表するための事業を実施する。			
事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
初段囲碁講座 (幸手市囲碁連盟との共催) 中央公民館	4月8日(日) ～ 5月27日(日) 全7回	一般 延べ155人	囲碁の初段を習得する機会を提供するとともに、参加者相互の交流により仲間づくりや団体活動の組織化を図る。	囲碁の初段習得だけでなく、参加者と講師のコミュニケーションが図られ交流を深めることができた。
初心者向け書道講座 西公民館	4月12日(木) ～ 6月28日(木) 全6回	一般 延べ91人	初心者を対象に、美しい文字を書くための基本を学ぶ。	一人ひとり添削する手法により、自分の良い部分悪い部分を認識することができ、満足できる内容だったとの声が寄せられた。
春の野草研究会 (幸手自然愛護会との共催) 東公民館及び中川周辺	4月24日(火)	一般 17人	中川周辺の野草を観察し、その種類や生態について調べ、採取した野草を天ぷらにして試食する。	食用になる野草の見分け方を学びながら、参加者の交流を深めることができた。
和紙絵画講座 北公民館	6月19日(火) ～ 9月4日(火) 全7回	一般 延べ45人	和紙をちぎり立体的に貼り合わせ絵を描く楽しさを学ぶ。	花、植物、風景の和紙絵を学びながら参加者の交流を深めることができた。
初心者ヨガ講座 中央公民館	6月20日(水) ～ 7月18日(水) 全7回	一般 延べ76人	ヨガの基本を学び心身のリフレッシュを図るとともに、ヨガの楽しさをも実際に体感する。	ヨガの楽しさを体験しながら仲間作りも合わせて行うことができた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
図工・美術わくわく体験教室 アート体験協会 アトリエ	6月23日(土) ～ 3月10日(日) 全10回	小学生 延べ23人	自然の素材を使用した造形体験学習により、想像力・集中力・観察力を鍛える。	受講した子どもたちは、自主的にのびのびと目を輝かせて、木や粘土等に触れ、作品を製作することができた。
クラフトバンド 手芸講座 (前期) 中央公民館	6月26日(火) ～ 7月24日(火) 全5回	一般 延べ38人	再生紙で出来たカラークラフトバンドを使って、小物やバッグなど実用的なものを作る。	世界で一つだけの作品が出来、実際の生活の中で活用できるということで、好評であり後期も開催することになった。
臨床絵画講座 東公民館	6月26日(火) ～ 7月31日(火) 全5回	一般 延べ45人	臨床美術の手法を用いて絵を描くことにより、独自の作品を作成し、達成感と満足を得られる。また、認知症予防の効果も期待できる。	受講者同士がコミュニケーションを図りながら、臨床絵画の手法を用いて、作品を作成し、達成感、満足感を得られた。
さいかつボール 教室 (幸手市レクリエーション協会との共催) 南公民館	6月30日(土) ～ 7月21日(土) 全4回	一般 延べ79人	誰でも気軽に楽しめるさいかつボール(軽量の変型ボールを使用)で体を動かす、参加者同士のコミュニケーションを図る。	グループを作り、試合を行ないながらルールを学び、体を動かしながら受講生同士が親しくなれた。
マットピラ ティス講座 南公民館	7月1日(日) ～ 7月29日(日) 全5回	一般 延べ78人	お腹の中の深部の筋肉を刺激しながら小さな筋肉までバランスよくつかいこなすことで調和のとれた本来の自然な体に整える。	看護師である講師の人柄(教え方)もあり受講生からは好評で、「また参加したい」との声がたくさんあった。
茶道講座 東公民館	7月4日(水) ～ 8月1日(水) 全5回	一般 延べ40人	気軽に茶の湯を楽しむながら、おもてなしの心を学んでいただくことを目的とする。	初心者だけではなく、経験者も受講していたので、より進んだ作法を習得できた。 また、お茶を介してコミュニケーションを図りながら楽しく学ぶことができた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
第4回幸手本因坊・幸手子ども本因坊囲碁大会 (幸手市囲碁連盟との共催) 北公民館	7月22日(日)	一般・子ども 延べ133人	①本因坊戦 ②段位戦 ③級位戦 (1～5級) ④級位戦 (6級以下) ⑤子ども本因坊戦 (19路盤) ⑥子ども級位戦 (13路盤)	対局参加者133名の参加があった。水間プロによる初心者囲碁講座は参加者に大変好評だった。
先生たちの茶道講座 中央公民館	7月31日(火)	市内教職員 16人	小中学校社会科及び道徳科の授業において、茶道体験を通して児童生徒に日本の伝統文化を伝える。	管理職を含め各学校から先生方が参加し教育長指導で茶道体験ができ教育活動に生かされると好評だった。
ジュニアボウリング講座 中央公民館	8月18日(土)～ 8月19日(日) 全2回	市内小中学生 延べ19人	小中学生を対象にボウリングを初歩から体験してもらいボウリングの楽しさを味わうとともに仲間づくりにも役立つ。	ボウリング場のマネージャーから仕組みを説明してもらい、ゲームを通してボウリングの楽しさが実感できたという好評であった。
紙飛行機講座 中央公民館	8月27日(月)	市内小学生 6人	小学生が身近にふれることができる紙飛行機を通して、航空力学的な学びと友達との親睦交流を図る。	実際に紙飛行機をつくり飛んだ距離や滞空時間を競い合う中でどんな工夫が必要か体験的に学ぶことができ好評だった。
書道入門講座 南公民館	9月5日(水)～ 10月17日(水) 全4回	一般 延べ20人	美しい文字を書くための基本を学ぶ。	丁寧な内容でしっかりと基本をおしえてくれる講座だった。
親子で楽しいお菓子作り体験講座 中央公民館	9月9日(日)	市内小学生及び保護者 7人	親子で楽しくお菓子作りを体験し親子の絆を深めるとともに仲間とのコミュニケーションも深める。	親子で楽しくプロのケーキ職人の指導を受け、ケーキ作りを体験し今後、クリスマスケーキ作りにも生かされると好評だった。
暮らしに役立つ現代マナー講座 北公民館	9月13日(木)～ 12月6日(木) 全7回	一般 延べ40人	現代マナーの基礎知識を楽しく習得することにより私達の暮らしに役立たせることを目的とする。	普段では慣れない動作や様々なマナーについて楽しく受講されていた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
スマートフォン・タブレット入門講座 北公民館	9月15日(土) ～ 2月16日(土) 全6回	一般 延べ60人	スマートフォン・タブレットの基本的な使い方、写真撮影、メール送受信、県管理アプリの活用方法などを学ぶ。	講師と参加者とコミュニケーションを図られ熱心に質問したり講師もわかりやすく指導されていた。
大人のお菓子作り講座 中央公民館	9月22日(土)	一般 5人	お菓子作りを初めから終わりまで自分で体験し、その体験を生かして家庭でも実践してもらう。	プロのケーキ職人からの手ほどきを受け、ロールケーキを作り試食し大変好評であった。
ピラティス講座 西公民館	10月2日(火) ～ 10月23日(火) 全4回	一般 延べ68人	骨格を中心とした身体の深層部を刺激することで、姿勢改善、身体のバランス能力向上、肩こりや腰痛の解消、新陳代謝の促進を図る。	普段あまり使うことがない深部の筋肉を使うことができる運動を体験することができた。
クラフトバンド手芸講座(後期) 中央公民館	10月16日(火) ～ 11月13日(火) 全5回	一般 延べ46人	数え切れないほどのカラフルな色の紙バンドを使って、世界でたった一つの作品を作り楽しむ。	前期で好評であった講座だったことから後期も開催しすばらしい作品づくりができた。
初心者詩吟講座 中央公民館	10月17日(水) ～ 11月14日(水) 全5回	一般 延べ35人	漢詩や和歌に触れ、腹式呼吸発声法を学び詩吟を楽しむ。	詩吟を通して健康づくり、仲間作りができたことで好評であった。受講者からの評判がよくクラブ化が図れた。
秋の自然観察会(幸手自然愛護会との共催) 中央公民館	10月18日(木)	一般 延べ29人	秋の山野草の観察を通して、植物の分類や観察の手法、楽しさを体験し自然のしくみを楽しみながら学ぶ。	実際の見地植物観察を通して、植物の分類や観察の手法、楽しさを味わうことが出来た。
メディカルアロマ講座 北公民館	10月23日(火) ～ 12月18日(火) 全5回	一般 延べ38人	植物の香りで家族のケア及び健康維持、増進を図るとともにアロマテラピーを楽しく学ぶ。	アロマ精油の効果、使い方、認知症予防のストーン、リップクリーム作りなど和やかな雰囲気で開催できた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
西公民館 いきいき大学 西公民館	10月24日(水) ～ 11月21日(水) 全5回	50歳以上 一般 延べ60人	いきいきと健康で 生きがいのある生活 を送るために、日常 生活に役立つ事柄を 学ぶ。	フロアカーリン グを楽しんだり、 相続や終活など について講話を聞 いたり、充実した内 容で開催すること ができた。
初心者ヨガ講座 北公民館	10月24日(水) ～ 11月28日(水) 全5回	一般 延べ60人	ヨガのポーズでし なやかな身体づくり とストレスを改善し 健康増進を図る。	参加受付から キャンセル待ちが 出るほど受講希望 者が多かった。次 年度も開催希望の 声が多く楽しい雰 囲気で開催でき た。
健康体操講座 東公民館	10月30日(火) ～ 11月27日(火) 全5回	一般 延べ110人	悪い姿勢からくる 体の痛みを改善す るために、必要な体操 や知識を取得するこ とを目的とする。	初日に姿勢を確 認した後、体操や 知識を取得し、最 終日に悪い姿勢が どのように改善さ れたか比較した。
健康改善スト レッチ体操 南公民館	10月30日(火) ～ 11月27日(火) 全5回	一般 延べ86人	どなたでも始めら れる健康づくりや美 容効果促進もある健 康改善ストレッチに チャレンジする。	とても体に良く 同じような体操は 今後も続けたいな ど、健康に関する 講座への要望が多 くなった。
七草がゆを食 べる会 (幸手自然愛護 会との共催) 中央公民館	1月7日(月)	一般 延べ21人	春の七草にまつわ る風習や伝統を学 び、七草がゆの試食 を体験することによ り、人と自然の関わ りを実感する。	公民館付近の倉 松川土手を散策 し、春の七草観察 をするとともに、 料理室で七草がゆ をつくり、試食す ることができた。
初心者書道講座 中央公民館	1月23日(水) ～ 2月20日(水) 全5回	一般 延べ47人	美しい文字を書く ための基礎を正しく 学ぶ。(永字八方、 春夏秋冬、年賀状等 実用書道他)	回数を重ねるご とに美しい文字が できあがり、熱心 に取り組んでいた。
ヨガ講座 東公民館	1月26日(土) ～ 2月23日(土) 全5回	一般 延べ65人	ヨガで柔軟性を高 め、アクティブに動 いて、美しく健康に なることを目的とす る。	受講者の多くが ヨガに興味を持っ て参加していた。 また、ヨガを介し てコミュニケーション を図りながら、楽 しく学んでいた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
そば打ち講座 東公民館	1月28日(月) ～ 2月25日(月) 全4回	一般 延べ57人	そば打ちを体験し、その経験を生かし家庭で実践できるようにする。また、参加者同士のコミュニケーションを図る。	受講者の多くがそば打ちに興味を持って参加していた。また、そば打ちを介してコミュニケーションを図りながら、楽しく学んでいた。
煎茶体験教室 南公民館	1月29日(火) ～ 2月26日(火) 全5回	一般 延べ19人	茶葉の種類などを勉強しながら、煎茶の煎法、手前、作法を学び日本の文化を体験する。	少人数の参加であったが、指導が行き渡りわかりやすく良かった。習った方法で家族にお茶をだしたところ、いつもより美味しいと好評であったとのこと。
スポーツ吹矢教 西公民館	2月20日(水) ～ 3月13日(水) 全4回	一般 延べ56人	気軽にゲーム感覚で楽しみながらできるスポーツ吹矢を通して、ふれあいや仲間づくりを図る。	年齢や体力に関係なく楽しめ、精神力や集中力が高まったという声が多く聞かれた。
ふれあいサロン 西公民館	3月27日(水)	乳幼児・小学生と保護者 37人	絵本の読み聞かせなどを通じて、子どもの好奇心を育み、保護者同士のコミュニケーションを深める。	さまざまな工夫を凝らした内容で子どもたちは楽しみ、保護者の方は交流を深めていた。
第38回 公民館まつり (展示の部) 南公民館	3月1日(金) ～ 3月3日(日)	一般660人	作品の展示等公民館におけるクラブ活動の成果の発表を実施する。	クラブ活動の成果の発表により、会員相互の交流と親睦を深めることができた。
第38回 公民館まつり (発表の部) 北公民館	3月3日(日)	一般200人	太極拳・ハーモニカ演奏・合唱・マジック等の団体が公民館におけるクラブ活動の成果の発表を実施する。	成果の発表によりクラブ活動の活性化が図られると共に、クラブ相互の交流を深めることができた。

◎ 図書館開館日数等

社会教育課

	平成30年度		平成29年度			
	開館日数	本館	306日	本館	308日	
	香日向分館	310日	香日向分館	311日		
貸出人数	本館	60,598人	本館	50,594人		
	香日向分館	24,583人	香日向分館	22,246人		
貸出冊数	本館	224,782冊	本館	219,363冊		
	香日向分館	51,687冊	香日向分館	45,017冊		
図書購入費	図書	数量	8,092冊	図書	数量	8,244冊
		金額	15,460,002円		金額	15,460,683円
	A V資料	数量	356点	A V資料	数量	326点
		金額	1,744,245円		金額	1,596,774円

◎ 蔵書内容

社会教育課

	平成29年度末蔵書数	平成30年度			平成30年度末蔵書数
		購入	寄贈等	払出	
一般書	112,287冊	5,731冊	277冊	3,211冊	115,084冊
児童書	57,379冊	2,277冊	46冊	1,453冊	58,249冊
郷土資料	5,458冊	1冊	89冊	29冊	5,519冊
紙芝居	2,258冊	83冊	0冊	1冊	2,340冊
合計	177,382冊	8,092冊	412冊	4,694冊	181,192冊

◎ 図書館協議会

社会教育課

事業目的	図書館の運営や図書館サービスに対する意見・提案をいただき、業務の運営に役立てる。		
事業内容	期日・会場	内 容	
	8月31日（金） 図書館視聴覚室	(1) 平成30年度図書館要覧について (2) 平成29年度事業報告について (3) その他	
事業内容	3月25日（月） 図書館視聴覚室	(1) 平成31年度事業計画について (2) 利用者アンケートの結果について (3) その他	
	事業成果	図書館を円滑に運営し、図書館運営や利用者へのサービス向上を図ることができた。	

◎ 第27回幸手市さくらマラソン大会開催事業

社会教育課

事業目的	生涯スポーツの推進をめざすため、健康ふれあいスポーツ都市 幸手市にふさわしく、誰もがスポーツをとおして豊かな生活を営むこととあわせて心身の健全な育成に寄与することを目的とする。また、さくらのまち幸手市のイメージアップを図る。		
事業内容	期 日・会 場	部 門	参加申込者数
	4 月 1 日 (日) 幸手総合公園陸上グラウンド	10マイルコース 3 kmコース 2 kmコース	3,168人 97人 529人
事業成果	さくらマラソン大会のメインである10マイル(約16.1km)コースには、全国各地から3,168人の参加申込を受け、当日は多くの方が権現堂桜堤と菜の花畑を走りぬけた。観桜客からの温かい声援もあり、参加者は桜と菜の花を楽しみに毎年参加している方が多い。幸手市のPRにもつながり、幸手市のイメージアップが図られた。		

◎ ふるさとづくり第63回市民体育大会

社会教育課

事業目的	広く市民にスポーツ・レクリエーションを普及し、市民の健康増進と体力の向上を図るとともに、地域の連帯感を高め、明るく豊かな市民生活の形成と文化の発展に寄与する事を目的とする。			
主 催	幸手市・幸手市教育委員会・幸手市体育協会・幸手市レクリエーション協会			
主 管	ふるさとづくり第63回市民体育大会実行委員会			
方 法	委託事業 委託料 2,257,000円			
事業内容	第1部(地区大会) 体育協会各支部等が主管団体となり、健康づくりと地域コミュニティの推進を図るため、地区をあげてスポーツ・レクリエーションの祭典として実施する。			
	地 区 名	期 日	会 場	参加者数
	行幸地区	9月30日(日)	行幸小学校	630人
	八代地区	9月30日(日)	八代小学校	300人
	さくら小地区	9月30日(日)	さくら小学校	中止
	北地区	10月7日(日)	幸手中学校	800人
	上高野地区	10月7日(日)	上高野小学校	1,000人
	権現堂川地区	10月7日(日)	権現堂川小学校	700人
	長倉地区	10月7日(日)	長倉小学校	1,350人
	栄地区	10月7日(日)	さかえ小学校	160人
	吉田地区	10月7日(日)	吉田小学校	2,000人
	香日向地区	10月14日(日)	旧香日向小学校	610人
	中地区	10月21日(日)	幸手小学校	165人
	第 1 部	合 計		7,715人

◎ ふるさとづくり第63回市民体育大会のつづき

社会教育課

事業内容	第2部（種目別大会） 体育協会及びレクリエーション協会加盟団体が主管団体となり、広く市民から参加者を集い、スポーツ・レクリエーションの普及を図る。			
	種目	期日	会場	参加者数
	空手道	8月26日（日）	武道館	38人
	柔道	9月2日（日）	武道館	94人
	野球	9月9日（日） ～全6日	ひばりヶ丘球場	550人
	ソフトテニス	9月16日（日）	総合公園庭球場	106人
	ゴルフ	10月4日（木）	ひととのやカントリー倶楽部	173人
	卓球	10月7日（日）	市民文化体育館	55人
	弓道	10月7日（日）	武道館	31人
	テニス	10月7日（日） ～全4日	総合公園庭球場	238人
	ターゲット・バードゴルフ	10月8日（祝）	総合公園さくらふれあい広場	27人
	ゲートボール	10月13日（土）	老人福祉センター	30人
	インディアカ	10月14日（日）	市民文化体育館	416人
	バレーボール	10月14日（日） ～全2日	海洋センターほか	239人
	剣道	10月21日（日）	武道館	55人
	ソフトバレーボール	10月21日（日）	市民文化体育館	162人
	ソフトボール	10月21日（日） ～全2日	神扇グラウンドほか	420人
	グラウンド・ゴルフ	10月28日（日）	総合公園陸上グラウンド	213人
	サッカー	12月2日（日）	総合公園陸上グラウンド	121人
	ミニテニス	1月20日（日）	市民文化体育館	52人
スキー	3月3日（日）	菅平高原スキー場	18人	
	第2部合計		3,038人	
事業成果	大会の開催により、市民の健康増進と市民との協働によるスポーツ・レクリエーション活動の推進が図れた。			

◎ 委託教室開催事業

社会教育課

事業目的	市民のスポーツ・レクリエーション等への参加を促進するため、スポーツ教室を実施し、市民の健康と体力の向上、交流の場及び各種スポーツの推進を図る。				
方法	委託事業 委託料 177,000円				
事業内容	教室名	委託先	対象	期日・会場	参加者数 (延べ)
	インディアカスクール	インディアカ協 会	一般男女	4月19日(木)～ 9月11日(火) 全6回 市民文化体育館	47人
	弓道初心者教室	弓道連盟	中学生～ 一般男女	6月13日(水)～ 7月11日(水) 全5回 市立武道館 弓道場	26人
	第2回ティボール教室	スポーツ 少年団 野球部会	小学1年 生～6年 生	6月16日(土)～ 12月8日(土) 全10回 神扇グラウンド ほか	176人
	ターゲット・バードゴルフ教室	幸手ターゲット・バードゴルフクラブ	一般男女	6月17日(日)～ 6月25日(月) 全5回 総合公園 さくらふれあい広場	23人
	槇の風グラウンド・ゴルフ教室	槇の風グラウンド・ゴルフ	一般男女	9月8日(土)～ 11月24日(土) 全10回 槇野地グラウンド	153人
	空手体験教室	空手道連盟	4歳児～ 一般男女	3月24日(日)～ 3月31日(日) 全3回 武道館	26人
	合 計				451人
事業成果	教室の開催により、市民の健康づくりと、スポーツ・レクリエーション活動の普及、参加者の交流が図れた。				

◎ 社会体育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	市内のスポーツ・レクリエーション団体を支援するため補助金を交付することで、スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民の健康づくりを推進する。			
交付実績	団体名・会長名	主 な 活 動	会 員 数 等	交 付 額
	幸手市体育協会 会長 宮杉 勝男	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらマラソン大会 ・「スポーツ幸手」発行 ・各支部開催の交流事業への補助 ・各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助 	9 支部 19 競技団体 6,298 人	3,050,000円
	幸手市スポーツ少年団 本部長 斉藤 一夫	<ul style="list-style-type: none"> ・種目別各種大会 ・親子スポーツレクリエーション大会 ・幸手市駅伝競走大会 	17 団 指導者 193 人 団 員 287 人	750,000円
	幸手市レクリエーション協会 会長 秋谷 昭治	<ul style="list-style-type: none"> ・普及事業の開催 ・各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助 ・創立30周年記念事業 	5 競技団体 364 人	300,000円
	幸手市スポーツ推進委員連絡協議会 会長 熊倉 仁一	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への参加 ・スポーツの実技指導 ・スポーツ行事、事業の協力 	20 人	150,000円
事業成果	活動団体に補助金を交付することにより、事業運営の充実が図られ、スポーツ・レクリエーション活動の普及や、健康づくりが図られた。			

◎ ふれあいスポーツ塾

社会教育課

事業目的	高齢者がスポーツをとおして健康づくりを進めるとともに、新たなスポーツ体験を通じて、生きがいづくりや交流を支援するために、事業を実施する。		
対 象	市内在住・在勤の60歳以上の方		
参加者数	42人		
事業内容	期 日	事 業 内 容	開 催 場 所
	11月14日（水） 10:00 ～ 12:00	開講式・『ぴんしゃんウォーキング教室』	市民文化体育館 メインアリーナ
	11月21日（水） 10:00 ～ 12:00	『最新トレーニング機器体験会』	市民文化体育館 多 目 的 室
	11月27日（火） 10:00 ～ 12:00	『アスカル幸手トレーニング室体験会』	市民文化体育館 トレーニング室・ 多 目 的 室
事業成果	健康づくりやスポーツに対する関心が深められ、参加者の交流も図られた。		

◎ カヌー体験事業

社会教育課

事業目的	カヌーをとおして、技術向上と仲間づくりを進めるとともに、水の楽しさを知り、心身の健全育成及び体力づくりを推進する。また、水に親しみながら、水辺の事故を防ぐための知識と技術を身につける。		
対象	市内在住・在学の小学年		
参加人数	37人		
事業内容	期 日	事 業 内 容	開 催 場 所
	8月4日(土) 9:00~12:00	開講式・水辺の安全教室・クリーン活動・カヌー実践	幸手中学校 プー ル
	8月5日(日) 9:00~12:00	開講式・水辺の安全教室・カヌー実践	幸手中学校 プー ル
事業成果	初心者が多数だったが、楽しく安全に楽しみながら体験できたことで、競技の普及が図られたとともに、水辺の安全についても啓発できた。		

◎ 学校体育施設開放事業

社会教育課

事業目的	地域住民に身近な学校体育施設を、学校教育に支障のない範囲において開放し、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。				
委託先	平成30年度学校体育施設開放運営委員会連絡協議会				
方法	委託事業 委託料 1,305,000円				
事業内容	学 校 名	施 設 名	開放日数	利用者数	主 な 利 用 種 目
	幸 手 小	校 庭	83日	3,389人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・少年サッカー ・インディアカ ・ミニテニス
		体 育 館	95日	2,890人	
		夜間体育館	135日	2,132人	
	長 倉 小	校 庭	75日	4,283人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・バレーボール ・インディアカ
		体 育 館	86日	1,634人	
		夜間体育館	78日	1,283人	
	上 高 野 小	校 庭	121日	11,913人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・サッカー ・ソフトボール ・卓球 ・インディアカ
		体 育 館	73日	3,402人	
		夜間校庭	88日	2,990人	
		夜間体育館	117日	1,986人	

◎ 学校体育施設開放事業のつづき

社会教育課

	学 校 名	施 設 名	開放日数	利用者数	主 な 利 用 種 目
事業内容	行 幸 小	校 庭	87日	2,144人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・少女バレーボール ・インディアカ
		体 育 館	65日	2,018人	
		夜間体育館	208日	2,393人	
	八 代 小	校 庭	94日	2,187人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・グラウンド・ゴルフ ・ミニテニス ・ソフトバレーボール
		体 育 館	13日	823人	
		夜間体育館	261日	2,815人	
	吉 田 小	校 庭	93日	2,781人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・ソフトバレーボール ・バドミントン
		体 育 館	15日	532人	
		夜間体育館	148日	1,213人	
	さ か え 小	校 庭	80日	1,547人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・サッカー ・ミニバスケットボール ・ソフトバレーボール
		体 育 館	103日	5,541人	
		夜間体育館	156日	3,713人	
	さ くら 小	校 庭	104日	7,737人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年サッカー ・少年野球 ・ミニテニス ・ミニバスケットボール
		体 育 館	86日	3,971人	
		夜間体育館	237日	3,741人	
	権 現 堂 川 小	校 庭	84日	1,571人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・ソフトボール ・ミニテニス ・バドミントン
		体 育 館	57日	1,198人	
		夜間体育館	4日	62人	
	合 計	校 庭	821日	37,552人	平成30年度利用者数 延べ 81,889人
		体 育 館	593日	22,009人	
夜間校庭		88日	2,990人		
夜間体育館		1,344日	19,338人		
事業成果	地域の身近なスポーツ施設として、地域住民を中心に利用され、スポーツの普及と地域の交流が図られた。				

◎ 体育施設の概要と利用者数

社会教育課

施設名	施設概要	規模	利用者数
武道館	市の武道の拠点施設として、昭和59年に柔道場と剣道場を開設。 平成3年には、弓道場を開設。	(柔道場・剣道場) 鉄骨2階建 敷地面積 1,920 m ² 延べ床面積 1,323 m ² 1 F 柔道場 420 m ² 2 F 剣道場 406 m ² (弓道場) 鉄骨平屋建 延べ床面積 272 m ² 近的(6人立) 28 m	31,578人
B & G 海洋センター	B & G財団の補助を受け、昭和57年に開設。 昭和60年に譲渡を受ける。	体育館 鉄骨コンクリート建 敷地面積 9,003 m ² 延べ床面積 1,102 m ²	16,342人
ひばりヶ丘球場	ナイター照明を取り付けた本格的な野球場として、平成4年に開設。	両翼 92m センター 120m メインスタンド 1,460人 芝生スタンド 3,000人	18,480人
幸手総合公園	雇用・能力開発機構の補助を受け、勤労者福祉施設として、昭和62年に開設。 平成11年度にグラウンドを改修。	陸上グラウンド 24,000 m ²	30,472人
		庭球場 4,500 m ² 人工芝(全天候型) 6面 (内 夜間照明設備 3面)	16,918人
神扇グラウンド	一般廃棄物最終処分場跡地の有効利用を図るため、平成13年に開設。	敷地面積 19,370 m ² 野球等グラウンド 2面 (バックネット 2面) トイレ 8基 倉庫 5基	6,315人
少年サッカー場	旧権現堂川小学校跡地を再利用し、昭和62年に開設。	敷地面積 8,112 m ² 少年用サッカー場 1面 管理棟 1棟 器具庫 1棟	6,530人
大島新田多目的グラウンド	県有地である大島新田を借用し、杉戸町と共同して多目的グラウンドとして整備した施設。平成12年に開設。	敷地面積 10,800 m ² トイレ1棟 13.98 m ²	679人
市民文化体育館(アスカル幸手)	大規模なスポーツ・文化イベントが開催できる複合施設。平成7年に開設。	鉄骨鉄筋コンクリート造 敷地面積 26,865 m ² 延べ床面積 10,521 m ² メインアリーナ 2,050 m ² さくらホール 1,070 m ²	257,133人

◎ 公園等長寿命化対策事業（社会資本整備総合交付金充当事業）

社会教育課

事業目的	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の更新工事を行い、誰もが安全で安心して利用できる施設環境の整備を図る。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
公園施設 長寿命化工事	幸手総合公園 野球場	<ul style="list-style-type: none"> ・防球ネット更新 ・最上部防球ネット増設 ・バックステー柱補強工事 	29,484,000円

《財産運用の推移について》

◎ 基金（積立基金）

(1) 財政調整基金

財政課

基金の目的	地方財政法第4条の3第1項及び第7条第1項の規定に基づき、年度間における財源の調整を行い、市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	平成29年度末現在高	1,102,699,537円
	平成30年4月2日（取崩）	400,000,000円
	平成30年10月30日（取崩）	360,000,000円
	平成30年12月25日（取崩）	71,839,000円
	平成31年3月25日（積立）	351,266,000円
	平成31年3月25日（利子積立）	16,341円
	平成30年度末現在高	622,142,878円

(2) 公共施設整備基金

財政課

基金の目的	公共施設の整備にあたり、その整備費用に資することを目的とした基金である。	
運用状況	平成29年度末現在高	566,871,041円
	平成30年4月2日（取崩）	200,000,000円
	平成30年10月30日（取崩）	300,000,000円
	平成30年3月25日（取崩）	13,434,000円
	平成31年3月25日（利子積立）	39,649円
	平成30年度末現在高	53,476,690円

(3) 減債基金

財政課

基金の目的	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	平成29年度末現在高	378,019,461円
	平成30年10月30日（取崩）	100,000,000円
	平成31年3月25日（利子積立）	206,829円
	平成30年度末現在高	278,226,290円

(4) 地域福祉基金

社会福祉課

基金の目的	在宅福祉・ボランティア活動の推進等、地域における保健福祉活動の振興を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	平成29年度末現在高	29,234,119円
	平成31年3月25日（利子積立）	66,373円
	平成31年3月25日（取崩）	66,373円
	平成30年度末現在高	29,234,119円
	※平成30年度歳入として、66,373円を取り崩した。 取崩しについては、車椅子同乗車輛貸出事業の助成として、社会福祉協議会に支出した。	

(5) 学校教育施設整備基金

総務課

基金の目的	学校教育施設の整備資金に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	平成29年度末現在高	3,578,641円
	平成31年3月25日(利子積立)	2,014円
	平成30年度末現在高	3,580,655円

(6) 子育て応援基金

こども支援課

基金の目的	子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進し、子育て支援のより一層の充実を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	平成29年度末現在高	23,070,479円
	平成31年1月4日(取崩)	1,200,000円
	平成31年3月25日(利子積立)	12,299円
	平成30年度末現在高	21,882,778円

◎ 基金(定額運用基金)

(1) 土地開発基金

契約管財課

基金の目的	公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地を、予め取得することにより、事業の円滑な執行を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	平成29年度末現在高	25,976,547円
	平成31年3月25日(利子積立)	14,597円
	平成30年度末現在高	25,991,144円

◎ 債 権

(1) 入学準備貸付金債権

総務課

債 権 の 目 的	高等学校、大学及び専修学校に入学を希望する市民の保護者で、入学準備金の調達が困難な家庭に対して、入学準備金の貸付を行い、等しく教育を受ける機会を与えることを目的とするものである。	
運 用 状 況	平成29年度末現在高	17,185,000円
	平成30年 5月 (償還 1件)	10,000円
	平成30年 6月 (償還 4件)	125,000円
	平成30年 7月 (償還 12件)	400,000円
	平成30年 8月 (償還 10件)	500,000円
	平成30年 9月 (償還 7件)	70,000円
	平成30年10月 (償還 25件)	1,295,000円
	平成30年11月 (償還 7件)	285,000円
	平成30年12月 (償還 30件)	635,000円
	平成31年 1月 (償還 1件)	10,000円
	平成31年 2月 (償還 13件)	406,250円
	平成31年 3月 4日 (貸付 3件)	1,480,000円
	平成31年 3月 22日 (貸付 1件)	250,000円
	平成31年 3月 (償還 9件)	325,000円
	平成31年 4月 8日 (貸付 1件)	500,000円
	平成31年 4月 (償還 2件)	50,000円
	平成30年度末現在高	15,303,750円

(2) 住宅新築資金等貸付金債権

人権推進課

債 権 の 目 的	歴史的、社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の改善を図るため、住宅の新築若しくは不良住宅の改修、又は住宅の用に供する土地を取得しようとする者に対し、必要な資金の貸付を行い、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。	
運 用 状 況	平成29年度末現在高	10,657,001円
	平成30年 6月 (償還 1件)	44,120円
	平成30年 8月 (償還 1件)	26,472円
	平成30年10月 (償還 1件)	44,120円
	平成30年12月 (償還 1件)	44,120円
	平成31年 2月 (償還 1件)	44,511円
	平成30年度末現在高	10,453,658円

(3) 土地開発公社経営健全化無利子貸付金債権

財政課

債 権 の 目 的	市が土地開発公社に対して用地の先行取得を依頼し、その財源を無利子で貸し付けるものである。	
運 用 状 況	平成30年度末現在高	717,860,000円